



### <来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主要要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
5/2 (月)	+ 500	▲ 21,500	▲ 21,000	国債発行・償還 (2年)	国債補充供給 CP等買入 + 5,800 ▲ 100	国債買入 + 5,800 (固定利回り方式)	英：休場日 米：ISM製造業景況指数 (4月)
5/3 (火)				憲法記念日			米：FOMC (5/4まで) ユーロ圏：財務相会合
5/4 (水)				みどりの日			米：FOMC声明発表・パウエル議長記者会見
5/5 (木)				こどもの日			英：中銀政策金利、金融政策報告発表
5/6 (金)	+ 3,000	+ 500	+ 3,500				米：雇用統計 (4月)
5/9 (月)	+ 2,000	▲ 48,000	▲ 46,000	国庫短期証券 発行・償還 (3M) 流動性供給 消費税・法人税・保険揚げ			日：日銀金融政策決定会合 議事要旨 (3/17・18開催分)
5/10 (火)	+ 2,000	+ 1,000	+ 3,000	国庫短期証券発行・償還 (6M)			
5/11 (水)	+ 1,000	▲ 27,000	▲ 26,000	国債発行 (10年)	共通担保 (全) ▲ 4,450		日：景気先行CI指数 米：CPI (4月) 財政収支 (4月)
5/12 (木)	+ 1,000	▲ 7,000	▲ 6,000	源泉税揚げ			日：金融政策決定会合における主な意見 (4/27・28開催分) 貿易収支 (3月) 米：PPI (4月)
5/13 (金)	トン	▲ 8,000	▲ 8,000	国債発行 (30年)			

### <インターバンク>

日銀当座預金残高は国庫短期証券の発行等により週初、前営業日比△1兆3,800億円の564兆3,800億円から始まった。その後連続指値オペによる国債買入等もあり27日には567兆7,800億円まで増加したが、28日には新型コロナウイルス対応金融支援特別オペの期落ちにより、561兆2,300億円まで減少し越週した。

無担保コールON物加重平均金利は週初△0.016%から始まった。その後もオファービッドともに大きな動向の変化はなく△0.016～△0.018%のレンジで推移した。4日積みとなる28日は調達意欲の高まりによる金利上昇も想定されたものの、今積み期の調達にある程度目途がついていたことからビッドサイドは落ち着きを見せており、同金利は前営業日比△0.003%の△0.021%で越週した。ターム物は1W～2W物を中心に、主に△0.030%～△0.010%の水準で出合いが見られた。日本銀行は28日の金融政策決定会合にて現状の金融政策の維持を発表し、連続指値オペについては明らかに応札が見込まれない場合を除き毎営業日実施することとした。

来週以降の主な予定は、国内で5月9日に日銀金融政策決定会合の議事要旨の(3月17日・18日開催分)の公表、11日に景気先行CI指数の公表、12日に金融政策決定会合における主な意見(4月27日・28日開催分)の公表などがあり、海外では5月4日に米FOMC、5日には英中銀の政策金利公表、11日には米CPIの公表などがある。

### 【無担保コールレート】

	予想レンジ (%)
O/N	△0.050 ~ 0.001
1M	△0.020 ~ 0.030
2M	△0.020 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.130
6M	0.000 ~ 0.150

### 【オープン市場】

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	△0.050 ~ 0.000
CP 3M	△0.010 ~ 0.000

### <レポ>

足許GCC取引は週初△0.14%近辺の出会で始まった。月末初で連休過ぎとなる28日受渡しの取引では一時△0.20%近辺の出会も見られたが、新しい月に入った2日受渡しの取引は△0.11%近辺の水準まで上昇して越週した。

SC取引は2年412～435回債、5年139～151回債、10年333～366回債、20年164～180回債、30年66～74回債、40年9～14回債などに引合いが多く見られた。

### <CP>

今週の入札発行総額は約1兆9,200億円で、週間償還額(約1兆4,000億円)を上回った。発行市場は、石油や鉄鋼の他、ゴム製品や食品、化学等幅広い銘柄で大型の発行が実施され活況となった。先週の入札発行総額も1兆円を超え、大幅な発行超過となった。足許では円安、原材料高等への対応から当面の資金調達手段としてCPの活用を拡大する動きが広がったものと思われる。発行残高は先週末の23兆9,443億円から4月27日時点で24兆6,792億円に増加した。発行レートは0%近辺での出合いであった。25日に、CP等買入オペが予定通り4,000億円で行われた(下限利率は△0.10%[前回△0.09%]に変更)。結果は、按分レート△0.004%・平均落札レート△0.001%と前週比(按分レート△0.008%・平均落札レート△0.004%)で上昇した。0%近辺での発行が相応量みられたこと等が足切りレートの上昇に繋がったものと考えられる。

来週の週間償還額は、約1,300億円となっている。発行市場は、大型連休前に資金手当てを行った企業も多いことから、落ち着いたマーケットを予想する。発行レートは0%近辺での出合いを予想する。12日にC P等買入オペが4,000億円程度オファーされる予定。

### <TDB>

今週は国庫短期証券の入札は行われなかった。来週は5月6日、13日に3M・9日に6Mの入札が予定されている。